

平成19年度補助金等概要報告書

公益法人名	社団法人中央畜産会		
(1)年間収入（総収入－前期繰越金）		107,085,149千円 (A)	
(2)補助金等の交付実績額			
名 称	補助金・委託費の別	交付官庁	金 額
農業競争力強化対策事業推進費補助金	補助金	農林水産省	274,803千円
広域連携産地競争力強化支援事業 推進費補助金	補助金	農林水産省	15,209千円
合 計			290,012千円 (B)
(3)補助金等の年収比率		0.3% (B/A)	

平成19年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	農業競争力強化対策事業推進費補助金(エコフィード推進事業費、畜産生産基盤育成強化対策推進事業費、家畜改良増殖対策推進事業費)		
2. 事業の目的及び内容			
(1) 目的	①利用可能な食品製造副産物等を飼料化するとともに、食品リサイクルの推進により飼料自給率の向上を図る。 ②畜産経営技術の高度化に対する支援指導及び畜産情報ネットワーク等の円滑な推進を図る。 ③家畜改良増殖法に基づく、家畜改良増殖目標に則した家畜の改良増殖の推進を図る。		
(2) 具体的な内容	①エコフィード(食品残さ利用飼料)の利用促進を図るため、学識経験者等で構成する企画検討委員会を開催、普及啓発資料の作成及び食品残さ排出実態調査や利用意向調査を実施するとともにエコフィードの安全性を確保するため認証制度協議会を開催し、エコフィード認証事業実施要綱を作成。また、エコフィードに対する理解の醸成のため東・西日本シンポジウム等を開催。 ②畜産経営技術の高度化に対する支援指導の円滑な推進を図るため、指導手法等の検討、指導用資料の作成、経営分析システムの開発等を行う。併せて、畜産情報ネットワークの円滑な推進を図るための検討、情報提供用機器の整備等を行う。 ③優良な家畜の生産振興を図るため、肉用牛繁殖雌牛の生産利用技術の向上等について、協議、検討を行う。		
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人中央畜産会		
4. 交付実績額		274,803千円 (A)	
5. 補助金等における管理費			
(1) 人件費		0千円	
(2) 一般管理費		0千円	
(3) その他の管理費			
	内 容	金 額	
	合 計	0千円	
6. 外部への支出			
(1) 外部に再補助等されている者に関する支出			
	支出内容	支出先	金 額
	食品残さ排出・利用意向調査	中央団体(2団体)	4,559千円
	飼料化マニュアルの作成	中央団体(1団体)	3,090千円
	シミュレーション診断・指導データ提供	中央団体(5団体)	16,290千円
	地域生産情報交流推進	道府県団体(8県)	3,360千円
	畜舎等建築部材の構造強度等調査・実験	大学(3大学)	4,850千円
	先進事例調査	中央団体(1団体)	1,808千円
	合 計		33,957千円 (B)
(2) (1)以外の支出			
	支出内容	支出先	金 額
	委員会等の開催		
	エコフィード企画検討委員会	施設賃貸会社、委員等	2,082千円
	エコフィード認証制度協議会	施設賃貸会社、委員等	483千円
	シンポジウム・推進会議	施設賃貸会社、委員等	6,504千円
	戦略評価会議・委員会	施設賃貸会社、委員等	12,270千円
	人材育成研修会	施設賃貸会社、委員等	2,517千円
	DB構築ワーキンググループ会議	施設賃貸会社、委員等	4,520千円
	研修会の開催	施設賃貸会社、委員等	1,212千円
	LIN推進委員会・モニター設置	施設賃貸会社、委員等	9,075千円
	産地リーダー養成研修・交流会	施設賃貸会社、委員等	7,421千円
	情報交流会議等	施設賃貸会社、委員等	2,015千円
	畜舎関連基準の検討会・委員会	施設賃貸会社、委員等	3,161千円
	繁殖情報システム処理・運用費	通信会社等	3,883千円
	システム開発・情報提供		
	中央DBの構築	システム会社、通信会社等	84,192千円
	情報の管理・体制整備	システム会社、通信会社等	26,443千円
	情報交流関連システムの改訂	システム会社、通信会社等	4,130千円
	現地調査・集計分析		
	専門家集団の設置・派遣	調査員等	1,960千円
	先進的生産経営の実態調査	道府県団体(44道府県)	39,282千円
	畜舎等建築部材の構造強度等調査	調査員等	3,077千円
	資料印刷・作成等		26,619千円
	合 計		240,846千円
7. その他			
	内 容	金 額	
		千円	
	合 計	千円	
8. 再補助等の割合		12.4% (B/A)	

平成19年度補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	広域連携産地競争力強化支援事業推進費補助金	
2. 事業の目的及び内容	<p>(ア) IT等を活用した超効率的な家畜の飼養管理について 搾乳ロボット、哺乳・哺育ロボットなど、IT等を活用した飼養管理や、それら複数の新装備を組み合わせる飼養管理をする経営体と従来型の経営体とを調査し、比較検討をして課題を明らかにするとともに、これをもって報告会を開催し、あらたな展開の検討を行う。</p> <p>(イ) 和牛統一マークを活用した正しい知識の普及・啓発について 我が国固有の「和牛」の特性・優位性について、国内外の消費者の理解を深め、国際競争力をもったブランド化を推進するため、「和牛」の統一マークを策定し、その普及を図るとともに、「和牛」に関する正しい知識の普及・啓発等を行う。</p>	
(1) 目的		
(2) 具体的な内容	<p>(ア) IT等を活用した超効率的な家畜の飼養管理について</p> <p>1. 現地調査（補完） 1回 2. 検討委員会の開催 3回 3. 報告書の作成 4. 報告会の開催 3ヵ所</p> <p>(イ) 和牛統一マークを活用した正しい知識の普及・啓発について</p> <p>1. 企画検討委員会の開催 4回 2. 和牛統一マーク、キャッチコピーの策定 3. 和牛統一マークの商標取得のための調査、登録 4. 和牛統一マークの普及・啓発、和牛に関する正しい知識の普及</p>	
3. 交付先の公益法人の名称	社団法人 中央畜産会	
4. 交付実績額	15,209千円 (A)	
5. 補助金等における管理費		
(1) 人件費	4,059千円	
(2) 一般管理費	0千円	
(3) その他の管理費		
内容	金額	
合計	0千円	
合計	4,059千円	
6. 外部への支出		
(1) 外部に再補助等されているものに関する支出		
支出内容	支出先	金額
		千円
		千円
合計	0千円 (B)	
(2) (1) 以外の支出		
支出内容	支出先	金額
消耗品費	文房具店等	199千円
旅費	検討委員、現地調査員等	2,197千円
謝金	検討委員等	750千円
役員費	県団体、デザイン会社等	561千円
会議費	コーヒー店等	260千円
会場借上料	会議場等	102千円
資料印刷費	印刷会社等	1,157千円
通信運搬費	電話、郵便局、託送会社等	255千円
原稿料	検討委員等	699千円
募集費（和牛統一マーク）	公募デザイン応募者等	398千円
国内商標登録費	国際特許事務所	276千円
海外5ヵ国商標登録費	国際特許事務所	4,275千円
普及啓発用広告費	新聞社	21千円
合計	11,150千円	
7. その他支出		
内容	金額	
	千円	
合計	0千円	
8. 再補助等の割合	0% (B/A)	